

ビオトープフォーラム in 横浜 2014

- 地域の自然と環境学習 -

実施報告書

日時：2014（平成26）年5月30日（金） 13:00～16:45

場所：横浜ビジネスパーク ウェストタワー7階 中会議室（神奈川県横浜市）

主催：特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

後援：環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 神奈川県 横浜市 横浜国立大学（順不同）

フォーラム参加者 計 71名

官庁・後援関係	2	名	環境団体関係	8	名	一般	8	名
マスコミ関係	1	名	学生・学校関係者	11	名	造園団体・造園業者	9	名
協会員	32	名						

総括

『ビオトープフォーラム in 横浜 2014』は、地元横浜をはじめ全国から参加をいただき、地域の自然と環境学習をテーマに盛大に開催することができました。関係官庁の後援と講師の先生、協会員の方々をはじめ、皆様にご協力をいただき心より感謝の意を表します。また、ご多用中にも関わらず、横浜市環境創造局政策課環境プロモーション担当課長・遠藤寛子様、横浜市環境創造局政策課・杉山未来様、また代表顧問としてご指導いただいた故杉山恵一先生のご令室美智子様にご臨席を賜り、遠藤様よりご祝辞を頂戴いたしました。

横浜市環境創造局政策課 遠藤寛子様 祝辞（要旨）

本日は全国から大勢の方が横浜にお集まりいただきまして、こうしたフォーラムが開かれ、私も大変光栄に感じております。本当にありがとうございます。遠方から来られました方、ようこそ横浜にいらっしゃいました。

さて、横浜市では2011年に生物多様性地域戦略である、ヨコハマbプランという計画を策定いたしました。bプランのbは、biodiversityの頭文字をとったものです。このbプランに基づき本市では様々な施策を展開していますが、中でも、次代を担う子供たちに生物多様性の大切さを伝える、というところに重点を置いて取り組んでいます。そのためには、子供に直に生き物の素晴らしさを感じてもらい、これがとても大切だと思っております。その一つの取り組みとして、ビオトープの整備を進めているところです。横浜では、学校や企業の敷地などで、子供と大人が一緒になってビオトープを作ったり、維持管理を行ったり、生き物調査をするというような活動が、市内のいろいろなところで展開されています。そういったところでは、子供たちの生き生きとした顔をみることができ、ビオトープというのは本当に素晴らしいな、と日々感じているところです。また、横浜市でビオトープを推進するにあたり、私が感じるのは、ビオトープに対しての正しい理解、技術、知識、をしっかりと理解をしたうえで取り組むというのがとても大切だということです。ビオトープを設置したのはよいけれども、よいものができたね、で終わってしまって、その後は荒れ放題となってしまう、外来生物の棲みかとなってしまう、こういうビオトープになってしまうはいけません。そうしたビオトープも復元・再生していき、地域で愛されるような場にしていきたいと考えています。本日、この後の発表やご講演で、ビオトープのよい事例や大切さを聞かせていただけることができると思いますので、そういった正しい知識や、理解の啓発などについて、今後の横浜市での取り組みを進めるにあたりまして、私もしっかりと、皆様と一緒に勉強させていただきたいと思っております。

結びになりますが、日本ビオトープ協会のご発展並びに本日ご参加の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

フォーラムでは、はじめに協会会長櫻井淳より開会の挨拶として、当協会では地域の自然環境の保全・復元・維持管理を行っており、ビオトープアドバイザーという現場で活躍する技術者の養成に力を入れている点、今回のテーマである地域の自然と環境学習についてお話し、また今年度横浜で開催する事にした意義と開催に至る関係者への謝意が述べられました。

第1部では、ビオトープ顕彰委員会委員長、横浜国立大学学長・鈴木邦雄氏の講評と、『第6回ビオトープ顕彰』表彰式が行われ、本年度ビオトープ大賞の宮原地区まちづくり推進委員会様はじめ各受賞者に櫻井会長から表彰状が手渡されました。引き続き事例発表が行われ、「宮原ホテルの里」「ひかり保育園ふれあいビオトープガーデン」の2件の事例が、紹介されました。（別紙フォーラムレジュメ資料集掲載）

第2部は今回のフォーラムのテーマ「地域の自然と環境学習」をうけ、「横浜ビジネスパークの取り組み」について梶岡幹生協会総務委員長より、「豊田市立挙母小学校」について鈴木元弘副会長より、市民協働型学校ビオトープの事例発表を行いました。続いて、横浜国立大学学長・協会代表顧問鈴木邦雄先生に「生き物が育む人と社会」と題して特別講演をいただきました。地域の自然とそこに棲む生き物がいかに大切かをわかりやすい説明でお話いただき、参加者に大きな刺激を与える講演となり、今後私達も各地での活動を益々発展させて行く決意を新たにしました。

閉会の辞は、協会副会長鈴木元弘よりフォーラム参加者と関係者への謝意が述べられ閉会しました。

このフォーラムを通じて、地球環境の改善・生物多様性社会・いのちを知る環境学習等の重要性を再認識し、当協会の役割と責務の大きさを実感いたしました。今後も自然との共生をめざした活動を推進し、持続可能な地域づくりに貢献して参ります。

最後に、皆様のご協力に対し心より厚くお礼申し上げます、今後ともご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

2014年6月吉日

別紙レジュメ資料集の通り、盛会にて終了いたしました

～「ビオトープフォーラムin横浜2014」の様子～



～2日目エクスカージョンの様子～

